

異人館のまち  
北野 de 憩う

Quo Reaの販売員さんも  
絵になるような綺麗な女性でした!



ヨーロッパの街角にいる気分! **ルンルン**

なんだ坂、こんな坂...、すてきなのはり坂、北野坂を上り詰めると、東西に走る北野通にです。  
そこから少し東に行くと、北野通に面し、小径角にあるのが、とてもおしゃれな移動caféです。1962年式のワーゲンバスを使った移動caféがあるだけで、ヨーロッパの街角に行きたような気分になります。だからかも、このワーゲンバスをバックに撮影する人が少なくありません。  
早速、飲み物を注文することに。メニューもヨーロッパ風に黒板に書かれていました。  
ホットコーヒー350円、ホットコーヒーのポットサービス(2人分)は500円。ハニーティーは400円。カフェテはパラエティー豊かに揃っていて、オール450円。あんこ、抹茶、黒ごまといった和風デザートもあり、アイリッシュクリームやジンジャーラテも人気。  
六甲山の命水にこだわっているのと、このドリンクも美味です。  
ワーゲンバスの横には、ちょっとした椅子席もあるので、ここでお茶するのもいいですよ。

ドリンクはアイスでも、  
ほっこり癒される雰囲気  
おしゃれな移動café  
「プラスワン Quo Rea(クオリア)」



プラスワン Quo Rea(クオリア)  
電話なし  
神戸市中央区北野町3-5  
10:00~17:00 / 土・日・祝  
※イベント開催などがあると平日や祝日も  
休むことがあります。

今、人気を呼んでいるのが「アイシングクッキー」です。お砂糖と卵白のクリームなどを使い、好きなカラー(食紅など)で着色し、デコレーションしたクッキーのことをさそうです。「お絵描きクッキー」とか「デコクッキー」などとも呼ばれています。

このクッキーに挑戦する人も増えていて、教室や作り方などの本もいろいろと出ています。

このアイシングクッキーに出会い、すっかりハマっているのが、1歳4ヶ月の女児のママである多田真紀子さん(中央区在中)。1年半前からアイシングクッキーづくりをはじめ、今では周りも認めるほどの腕前。でも、当の本人は「素人で、まだまだ」と、控えめ。

実際、作品を見せていただくと、これはって思えるほど、素晴らしい出来映え。かわいい作品がお台所のテーブルに所狭しと並んでいました。「子どもが寝てから、何時間も削り続けてもあきないし、楽しくて、ストレス発散にもなっています。お友達の誕生日などのプレゼントにできればいいなって思っています」という、真知子ママ。ウワサを聞きつけて、オーダーしたいという声も聞こえてくるほど。夢は「将来、クッキーで多くの人を笑顔にできたり、喜んでもらえたらうれしい」とのこと。



食べてしまうのもったいないくらい(?)の  
とても可愛い仕上がり。

クッキーをデコレーションして、  
カラフル&キュートな  
アイシングクッキーの完成!



街の達人

今人気のお絵描きクッキー&デコクッキー

「アイシングクッキー」にハマっています!

異人館のまち  
北野 de 憩う



異人館のまちとして知られる神戸・北野。三宮から北野坂を北上がれば、北野異人館街。洋風の町並みを行けば、ちよっとおしゃれな移動caféや焼きたてのパン屋さんがあったり、小径を登れば、おとぎの国にありそうなメルヘンチックなアトリエや神戸ならではの土産店にも出会います。そして、今回のまちKappoは、二人の王子様(?)のエスコート付き。  
信政誠(のぶまさまこと)さんと作家(さく)さんとともに、シンガーソングライターとして神戸を中心に活躍するプロのミュージシャンです。わくわくのkappoをお楽しみください。



ワーゲンバスの移動café「プラスワン Quo Rea(クオリア)」